



Ragnarok Online Fanbook

姫騎士イム 2

DOJIN
成人向け
R-18



登場人物 および
前回までのあらすじ

リユートはフルグラントイオ
騎士団に所属するルーンナイト
イルティナの恋人、婚約者。
小隊の隊長でもある。
現在は部下を引き連れ
異世界へ遠征中。

イルティナはDロストリクト
両手剣使いのロードナイト。
コロネットを愛用しており、
その美しい容姿も相まって
周囲からは「姫騎士」と呼ばれている。

タイムシステムがモンスターにも可能になった世界

モンスターたちは好みの女性を「ペット」として捕獲しては、
性玩具や繁殖の苗床として「飼う」ようになった。
タイムされた人間は、主に逆らうことは出来ず、命令には絶対服従となる。



オークホバ

イルティナをタイムしたオーク、
以前から彼女を狙っていた。
オーク族の例に漏れず、性欲旺盛。

イルティナもまた、ある日突然、オークのホバにタイムされてしまった。
このオークは彼女を手に入れたいと狙っていたのだ。
念願叶い、興奮するホバ。

イルティナは得意の剣技で撃退しようとするが、力が抜け剣を振るえない。
無抵抗となった彼女に対し、オークは精年の肉欲をその場で吐き出す。
「お前の乳も飲みたいな」
「また可愛かった後 やつがらな♡」

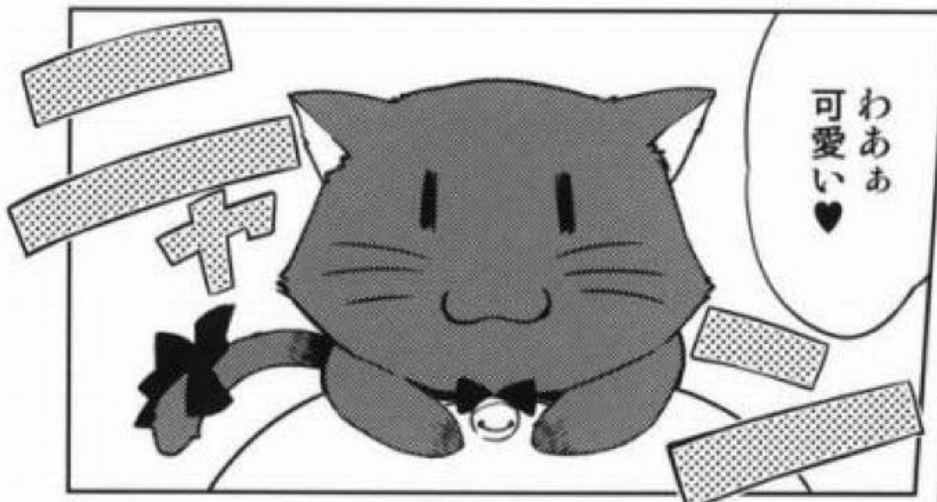
容赦ない陵辱。
転生を経て純潔に戻っていた彼女の体だった。
恋人リユートに指一本触れられぬまま、オークによって汚されてしまう。

ホバはそれでも満足せず、
自分の村へとイルティナを拉致する。

イルティナはただ、
恋人リユートの救出を待つばかりではない。
抵抗も逃走も出来ないのだ。

こうして、オークとの生活が始まった。





わああ
可愛い♡



「今話題の
ニブル Heim 特産品」
だって！
同期の子たちの間でも
話題なんだよコレ！
ねえ
似合うと思う？

そうだね
げっ!?

結構するんだな
……



リユート
こっちこっち！
今度はこのお店
見てみよ？

まってくれよ
イリイ



昇進祝いにも何でも好きなもの
買ってくれるって約束でしょ
リユート「先輩」？

はは
まいったな
給料前なのに



えー？
そうだなあ……

じゃあ
リユートが選んでよ
私に似合いそうなの♪



うん
似合ってるよ

ガールキー
フェアボーイ

これ
似合うかな？



良いと思うよ

これは
どうかな？



いや
本当なんだけど……

もうっ
適当に答えてる
でしょ

黒いネコ

むー



俺が一生
添い遂げて守る
俺だけの……ね

え
それって……



イルティナは俺の
お姫様だからね

コロネット



こんなのは
どうかな

ボーン



ただちよつと
ワガママでじゃじゃ馬な
困ったお姫様だけどな



ホントにそれで
良かったのか？



あはは
リュート
こっちこっち！

おおいっ
イリイ



だからね—？



欲しいなら
あの黒猫でも
……

いいの！
こっちがいい！

私がピンチになったら
助けに来てね

王子様♥



事件のおよそ半月後
オーク・ボバの家

今更
何言ってるだ

またたつぶり
種汁注ぎ込むからな
姫様♥





あー
気持ちええ♥

何度抱いても
飽きねえな
姫様は♥

ほんとに
本当にタイムして
良かったあ♥

ポッ

この
卑怯者!

しっかりし
騎士様ってのも
大変だなあ？

こつたな
スケベな身体もてあましてる
許嫁一人残して
お務めせにやいけねえとはよ

す
す

お前エの「王子様」
なんだっけか

だども
難しいと思うぞ？

この隠れ里はまだ人間に
知られてないからな
ヴァルキリー様でもない限り
そう簡単にや見つからねえ

そんなこと無いわ！
リユートなら必ず
見付けてくれる！

あんたの命なんか
それまでよ！

ほ
そりやおつかねえ

そうやってられるのも
今のうちよ

きつともうすぐ
リユートが助けに来て
くれるんだから

いい色具合に
熟れてきたなあ♡

は
は
は

モラ
モラ



はよ母乳さ
でねえかなあ

あー
なんちゆう乳だ
たまんねえ……♡

姫様の母乳
腹一杯飲んでえ♡

死ぬつもり
ねーけど

お前さんのポテ腹
拜むまでは

まあオラは

ほれ♪
いつものヤツで
気持ち良くしてくれえ♡

王子様の
お迎えが来るまでは
二人つきりだからよ

いっ嫌よ!
あんな恥ずかしいこと
二度とやるもんですか!

それまで
たつぷり

子作り
しようなあ♡

ムムムム♡

あー

悔しいけど
こいつの命令に
逆らえない……

剣よりも
チ○ポのほうが
扱い慣れたんでねえか？

リユートにだって
してあげたこと
ないのに……



あり
気持ちええ
姫様のパイずり♡

ぼちやぼちやして
あったけえ♡

ほれっ

口も使って
奉仕するだ



タイムされて
いなければ
こんな奴……!!

そうだ
上手えぞ♡



なんて
禍々しい形なのかしら
まるで
別の生き物みたい



汚くて臭くて



リユートのより
ずっと
太くて長い……

は……

おやあ

はっ
はっ
はっ

私を抱いている間は、
何度射精しても
ずっとカチカチに
勃起したまま
まるで射精しながら
精液を作ってるみたい
すごい精力——

人間とは
全然違う

女を
孕ませることに
特化した
本物の生殖器

これがオークの

私の「初めて」を
全て奪った
オチ○チン……

お汁が跳ねて
ものすごくエッチな
音……

お汁

そんなに
気持ちいいんだ
これ……

お汁

はあ
はあ

お汁!
お汁!

お汁
お汁
お汁

お汁



ごめんねリユート
恥ずかしがって
嫌がって……
して……あげたら
よかったね……

お汁
お汁

やだ
あの表情

きつともうすぐ
射精すのね
いつも私の膣内に
するみたい

あの黄色くて
ねばっとしたものを

お汁

お汁

お汁

お汁



お玉がキュンキュン
せりあがって
竿が膨れて
噴水みたいに

お汁

お汁

お汁



おまおま
おまおま

す……す……す……
い……い……い……
お乳の間に
熱いの

いっばい
はじけてる……



あ……
えがったあ
……♡



姫様のデカ乳は
最高だなあ♡

女性の乳房は
赤ちゃんを育てるための
大切な器官よ
それをこんな……

こんな使い方
ひどいわ
……

は

は

おまおま

おまおま



こりやたんと
射精たなあ♡

あぁあ ぬち



味わって
飲み込むだぞ♡



ほれ
口開けえ♡



それが胃に落ちて
私の一部となる

精虫をたっぷり含んだ
セラチンみたいな
オークの精液
何度飲まされても
慣れない
酷い味



ようけ口ん中で
混ぜ合わせてな
美味えが?



大切な
ご主人様の子種
だからなあ

なっ
何をするの!?

こんなものを
私は毎日

アンタが
剣技を見せろと言うから
していたのに——!

見てたら
またムラムラ
きちまってよ

汗に蒸れた
姫様の体臭
たまんねえなあ♥

ダメツ
ここじや
見られちゃう

構わねえ
見せつけてやんべ♥

へっ
変態!

やつ
駄目

んんんん
あああ

んん!

ふりつぶりのケツ
右に左に揺らしてえ
本当は誘ってたんだけ?

んん!

んん!

バカなこと言わないで!
侮辱するのも
いい加減にしないと

んん!

んん!

本当に
めんこいなあ♥

んん!

その度に
腫さキウキウ
締め付けてくる♥

いまっと怒れ
たんと怒れえ♥

んん!



ほおれ♪
姫騎士様の
貴重な子作り
お披露目だあ♪

おんたまたまが
いざなさいよ!!

じゃあ!

じゃあ!

じゃあ!

へへへ



チクショオ
ホバのやつ
上手いこと
やりやがって
あの姫様を
孕ませ放題か

あの
ブリッブリの体
たまんねえ♥

くっそお
オラも姫様に
種付けしてん♥

孕ませてえ♥

お見者
お!!

お!!



うおっ
なんちゅうウシ乳だ
騎士なんて
もったいねえ
繁殖にもってこいの
体でねえか♥

姫様の金髪
ツヤツヤだあ♪

せめて
しゃぶってくれ
なあ?

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!

お!!



お願いします
ご主人様
子作りはお部屋で
二人つきりて
したい……です

よし
良く言えただね



お願い
お部屋で……
お部屋でして……

それじゃあ
ちやんとお願い
しねえとな



オークは
見せびらかすように
私を連れ回り

怒の途中で
何度も射精した

私の体重で
子宮口と生殖器が
みっちり密着した状態で

おあああ

ギン

奥ま

当

深

カ

あ

気持ち良さ
世

オ

ハッ

おあああ

奥ま

当

深

カ

あ

オークは
見せびらかすように
私を連れ回り

怒の途中で
何度も射精した

私の体重で
子宮口と生殖器が
みっちり密着した状態で

おあああ

ギン

奥ま

当

深

カ

あ

気持ち良さ
世

オ

ハッ

おあああ

奥ま

当

深

カ

あ

オークは
見せびらかすように
私を連れ回り

怒の途中で
何度も射精した

私の体重で
子宮口と生殖器が
みっちり密着した状態で

おあああ

ギン

このオーク
ボバとの交尾
それが
タイムされた私の
強いられた日常

なあ
稚児さできるのいつ分かる？
つわりはまだ来てねえが？

早く
ボテ腹のお前さんと
交尾してみてえ♥

何匹か産めば
乳さ母乳疲れて
垂れ下がって
桃色の乳首さどす黒く
染まっちゃうんだろな

やっ
止めてよっ

細い体も
ぼつてり肉さついて
だらしねえ樽腹に
変わっちゃうんだろな

い嫌っ
オークの
赤ちゃんなんか
絶対に

絶対に
産まな……っ

お前さんの体は
そう言っていない
みてえだぞ？
ハハハハハ
コウコウハハハ





変えてやるからな
お前えの体をよ
お前えは
オラのベツトだからな

その
リユートちゆう男にや
二度と見せられない

オラ好みの
スケベな体に

ぬめぬめ
あめ
あめ
あめ

お前の
挿入したい

おめ
おめ
おめ

おめ
おめ
おめ

おめ

!!!!



作り変えて
やるだ♡

おめ

おめ

あめ
あめ
あめ

あめ
あめ
あめ

あめ
あめ
あめ

あめ
あめ
あめ



!!!!

きゅん♡

やっぱり
気持ちええっ!!

姫様の
ぐちよ濡れお〇こ
最高だあ♡

くうう♡
そんな締め付けるでねえ
まるでスッポンでねえか

そんなにオラの
子種さ欲しいか♡



ウソでねえ♡
ほれ

ほれっ♡
ほれっ♡

すっかりオラのチ〇ボ
気に入っちゃまってえ♡

オークのに慣れたら
人間のは短小すぎて
もう戻れねえぞ?



ちよいと前まではよお
お前さんとこんな事できるとは
一生無いと思ってたなあ

襲いたくても
腕っ節が強くて
絶対敵わねえんだからな

それがよお



あああ
夢のようだあ♡



熱い
オークの生殖器

子宮口が開くのを
促すように
何度も何度も
ノックする

ずぬ！ずぬ！

根本まで挿入って

お腹の中を
えぐるように
突き上げて……

ずぬ！ずぬ！
ずぬ！ずぬ！
ずぬ！ずぬ！

ダメ
そこ……

は。は。は。
ギッ。ギッ。
リユートの
届かない所

お尻を舌

貪るような
荒いキス

ずぬ！

彼とは
違うのに

愛情なんて
欠片もないのに



ダメ
子宮降りないで

赤ちゃんの種
受け容れようと
しないで

オイクの赤ちゃん
育てる場所じゃないの！

そこは
リネードの赤ちゃんの
場所だから



なのになんで
こんな感じ
感じるの

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん



んなに
気持ちええか
もつと良くして
やるかな

女を
性欲のはげ口にしか
考えていない

繁殖の道具にしか
見てない
最低男なのに

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん



嫌……
イきたくない
イッつたらまた
射精されちゃう

リネード
私を守って

んんんんん
んんんんん

んんんんん
んんんんん



絶対
イかない

わー、
わー、

すんなん、

あー、

あああ、

い……
いかな……

あゆみの
まんの

イク時さ
ちやんと言うたぞ♡
命命。

リニート……
リニート……

口さ緩んだ子袋に
濃い目一杯
注ぎ込んでやる
かな♡

あー、
あー、

あー、

あー、
あー、

あー、
あー、

あー、
あー、

あー、
あー、

あー、
あー、

あー、
あー、

あー、
あー、

あー、
あー、

あー、
あー、



でないと、私

はー

お願い...
早く助けに来て
リユート...

んはあ
んはあ

はー
はー

あなたの側に
戻れなくなる

翌日

オーク村
広場

オークたちはよく
自分のベツト自慢をする

ベツトの質が
飼い主オークのステイタスに
なっているようだ

おお
姫様だ

近くで見つと
本当にべっぴんだ
なあ♥

奴等は
饒舌に語る

昨日の夜も
ずいぶん遅くまで
楽しんでたなあ？

自分のベツトの
容姿・体がどれだけ
男受けするか

性知識のない少女に
どれだけ自分好みの性技を
仕込んだか

すでに孕ませたか
母乳の味はどうか

ズリネタに
しちまったぜ
ハイハイ

あの姫様もすっかり
仕込まれちゃったなあ

オークとの混血児を
何人産み落とさせる
つもりか……

何度もイカされてたなあ
数え切れなかったよ

甘つとろい声さ
外まで聞こえて
きてたぞ？

ニヤ ニヤ
処女を奪った時は
どうだったか



そんで
今はちちゅーとな

おお?
お前エら……

おはよう
ございます
ご主人様♥

もう神様よりも
オラのチ○ポのほろろさ
好きになつたみてえだ

朝餉がご用意
出来ましたので
お迎えにあがりました

併せて
朝の熱りを
お鎮め致しますわ
ご主人様は
どうかそのまま
お楽に……♥

ワスワス
お玉をこんなに
重く腫らされて
……
お辛いでしよう

わたしの
私たちのお口で
すつきりなさって
下さいませ♥

これが
極楽みてえな
心地よさだよ
さすが聖女さまの
ご奉仕だなあ

下半身から先が
別世界だ♥



昨晚あれほど射精されたのにもうこんなになに……♡

素敵ですわご主人様

なんて遅しく男らしいのでしよう♡

お好きなときに排出なさって下さい一滴漏らさず頂戴致しますわ♡

もちろん褒美はうんとしてやっつてると

一日中たっふりとな♡

その甲斐あって二人同時にオラの子身こもってな！出産が楽しみだあ♡

おーやるじゃねえか見直したぜ！



俺のお気に入りは教授だぜ

ぶっちゃけこの目の仇なんだけどよ

これがクソ生意気な女だよ

俺と闘ったときはトドメもささずゴミを見るような目で去っていきやがった

よく調べたらこの女男嫌いで有名でな

なんて言うんだ？まあ同性愛者だな



相方を餌にすりやチヨロいもんだったぜ

タイムしてから数週間あの調子だ



俺等の仲間にとつかえひつかえ



テメエと同じ男嫌いだっただのになあ？今じゃ見ての通りだ

ククク処女は俺が食ってやったぜ



お前もすぐに
あなる

安心しろ
お前は俺だけのベツトに
してやる

俺の子供を
何匹も産んで貰うぞ



幸せそうなの
アホツラだろ?

あれがメスの
正しい姿なんだよ

遅いオスに
種付けされて
ガキを産むことがな

ふざけないで!
あの子を解放して!



女同士じゃ
子供は作れねーだろ

俺がたつぷりと
男を教えて
やる……!!!



腕力で女性を
ねじ伏せて
征服したつもり!?

お姉様
綺麗……♡

だから男は
嫌いなよ!
ケダモノだわ!!

クヒヒ
好きなように
言ってる



オメーはその
ケダモノのガキ
産むんだ!



そのとき種付けた
赤ん坊が
今は臨月近くだ
さっさも
ボテ腹揺らしながら
犯してやったぜ

涙と母乳垂らしながら
「イかせてください」って
懇願する姿が愉快でなあ♥

そんなに初物が好きか？
穴あきや一緒にやねーかよ

本当の通はなあ

「人妻」だよお

お前等
ガキだなあ

その日は丁度
危険日だった
らしくてさ
せっかくだから
初種付けは旦那の前で
してやったよ

この前、
娘を連れて
団らんしている家族を
見かけたんだ

その女が
いい体しててさあ

一目で気に入って
速攻タイムさ

旦那に良い声
聞かせてやれよお!!

イツヒツヒ!
ほらもつとお!

おあ
おあ
おあ

おあ
おあ
おあ



それがいいんだとさ



どこがいいんだか聞いてみたんだけど

孕まないし一回しか使えないだろ？



兄貴にやっつたよ

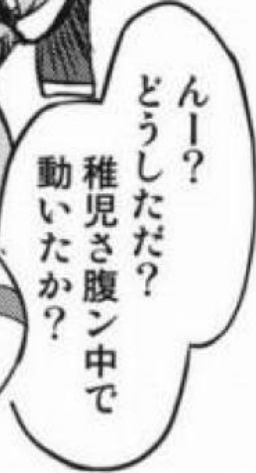


二人には逃がしたってことにしておいたよ



本当のこと話したら壊れちゃうからね
ベット想いのいい飼い主だろ？

とりあえず2・3匹産ませて飽きるまでは黙っておくことにしてるよ





逢いたいよ





フム





な
何者だテメエは!?



我が愛姫
イルティナ・D・ストリクトを
迎えに参った



邪魔立てするなら
切り捨てるぞ

オークども!



リユート

リユート……

イルティナ
がきれ!!

ドドド
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド



やっぱり私の
王子様だよ

リユートー!!



ああ
こいつも死んでら



チクシヨウ
派手にやってくれたな
あの騎士

おい
ホバの奴
まだ息してるぞ

ホバ
ホバ



んじゃコレ
使ってみるか?

ベットが持っていた
薬草なんだが
……

イグアタラニの瘡



もうここまで
来れば大丈夫
……

イリイ?



大丈夫
落ち着いて

ばかっ！
遅いのよ！

ずっと待って
いたんだから！





ほら
俺を見るんだ

謝らないで



イリイ……



ごめんなさい……

いっぱい
汚された……



汚れてなんて
いるものか

でもそれだけだ

傷は負ったかも知れない
それは俺の傷でもある
二人で一緒に癒していこう

意地っ張り
でおんばな
俺のお姫様

ストゥ……



初めて出会った
あの頃の君
そのままだよ



君に辛い思いを
させてしまった
不甲斐ない俺だけど
まだ——
君のナイトで
居させてくれるかい
イルティナ





リユート……

姫騎士タイム2

Ragnarok Online Fanbook

presented by Xration/mil
xration.sakura.ne.jp
2012 SUMMER

愛しています



あー
死ぬがと思った

むくッ



とつくに
逃げたよ

男と姫様は
どうしただ？



あ、あの傷を
塞ぐとはなあ
ニンゲンてな
すげえ薬草使うんだな

へっへっへっ
往生際の悪いのが
オラの長所だ



まったく
しぶとい奴ちゃ



この村も
引き払わんとい
けねえなあ
ニンゲンの討伐隊が
やってくるぞ



なあに
大丈夫だあ


いざって時の
保険は
掛けてあんだ♪





タイム
成功だ♪

— 続 —



～あとがき～

ここまで読んで頂きありがとうございました！
拙作「姫騎士ティム」の続編でございました。
前作をご存じであれば、「なんで今更?!」と
思っただらっしゃる方がほとんどだと思います(;´∀`)

2009年ですからねえ。つまり3年前……
え、3年間何してたのわたしや……

実は続編は最初から予定してました。
ここに掲載したカットがその証拠です。
そして落ちたんですねー、原稿(汗
それから紆余曲折ありまして、ようやく
形になりました。な、長かった。

このお話はもうちょい続きがあります。
次は3年もかからないようにします！
ではでは。ノシ

2012/7/24
mil

Xration



<http://xration.sakura.ne.jp/>



Ragnarok Online Fanbook

姫騎士

永久

DOJIN
同人即行
R-18



Presented by Xration
2012 SUMMER